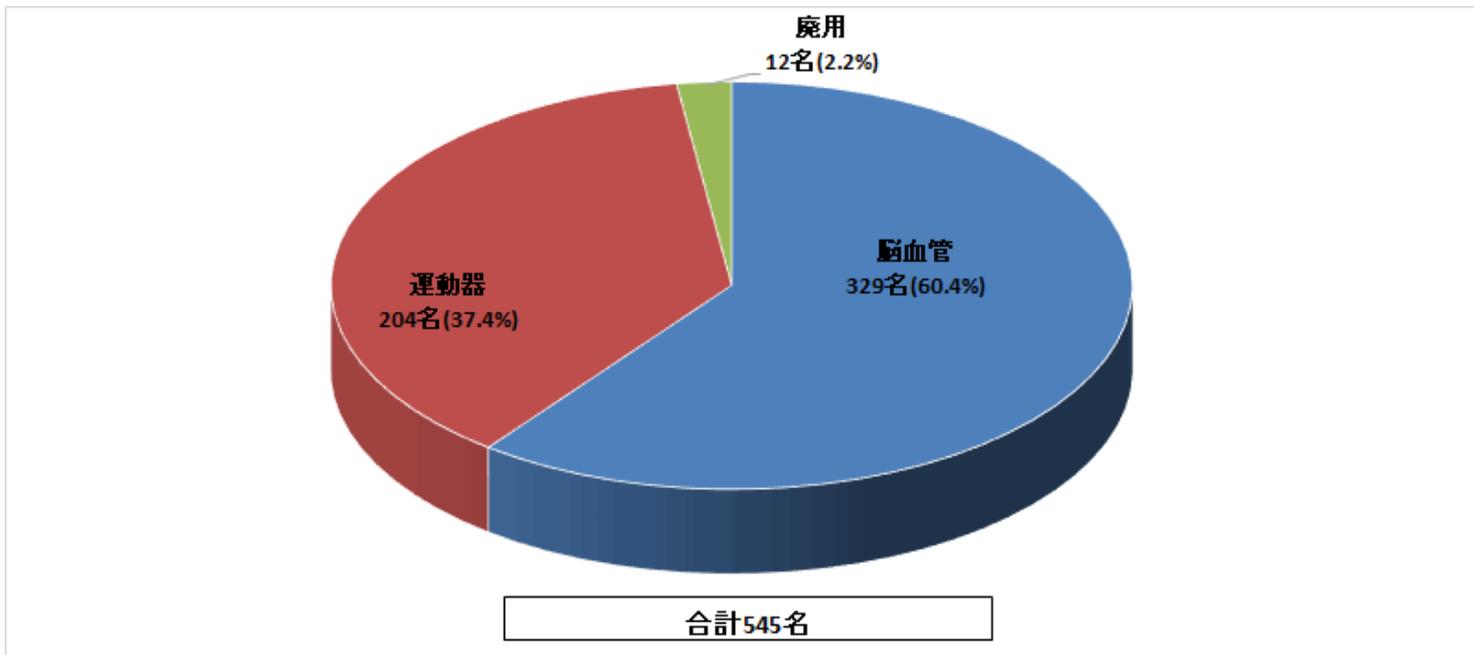
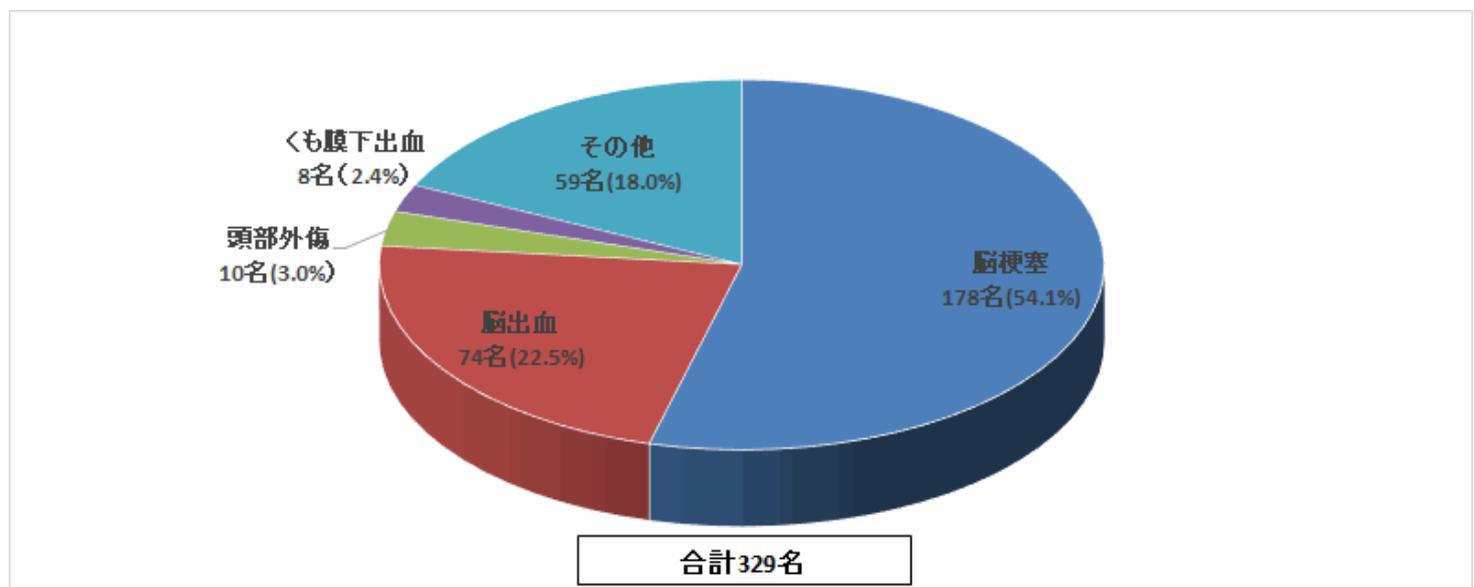


2019年度入院実績（2019.4.1～2020.3.31）

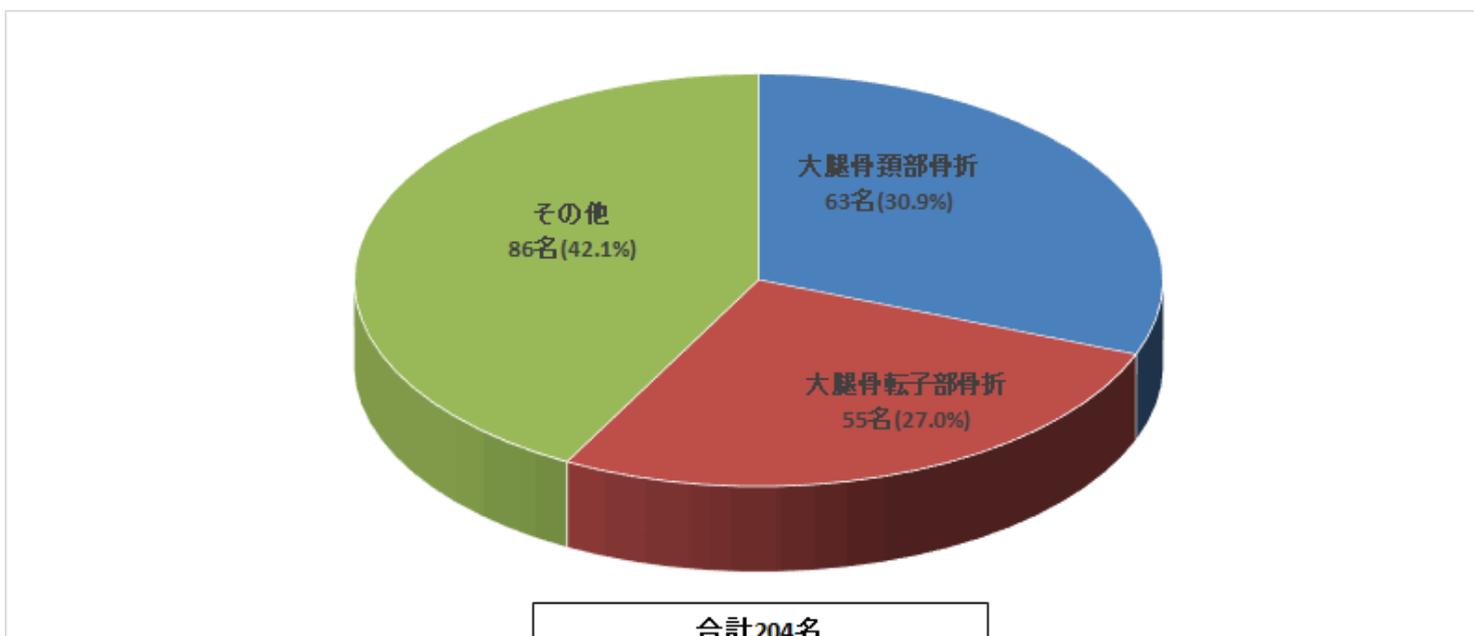
・新規入院患者数疾患毎内訳



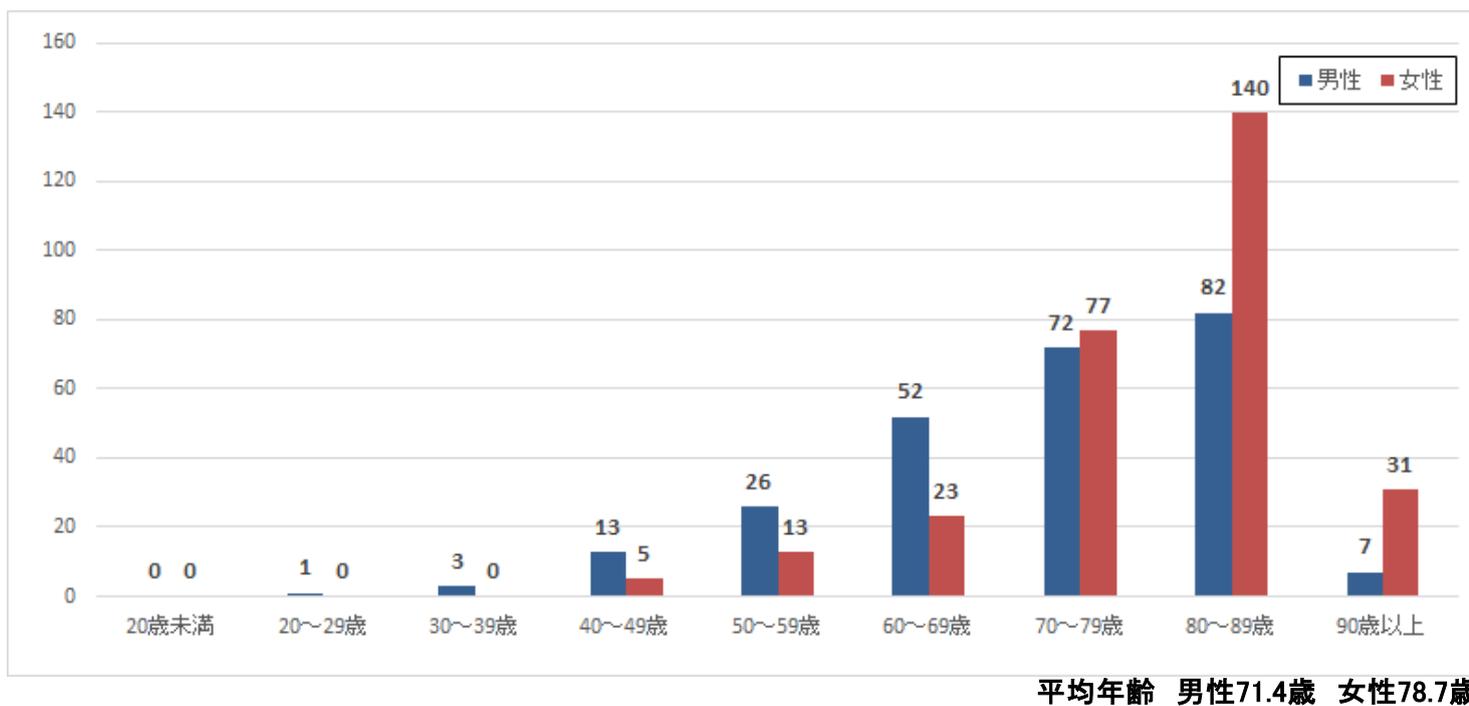
・脳血管疾患主病内訳



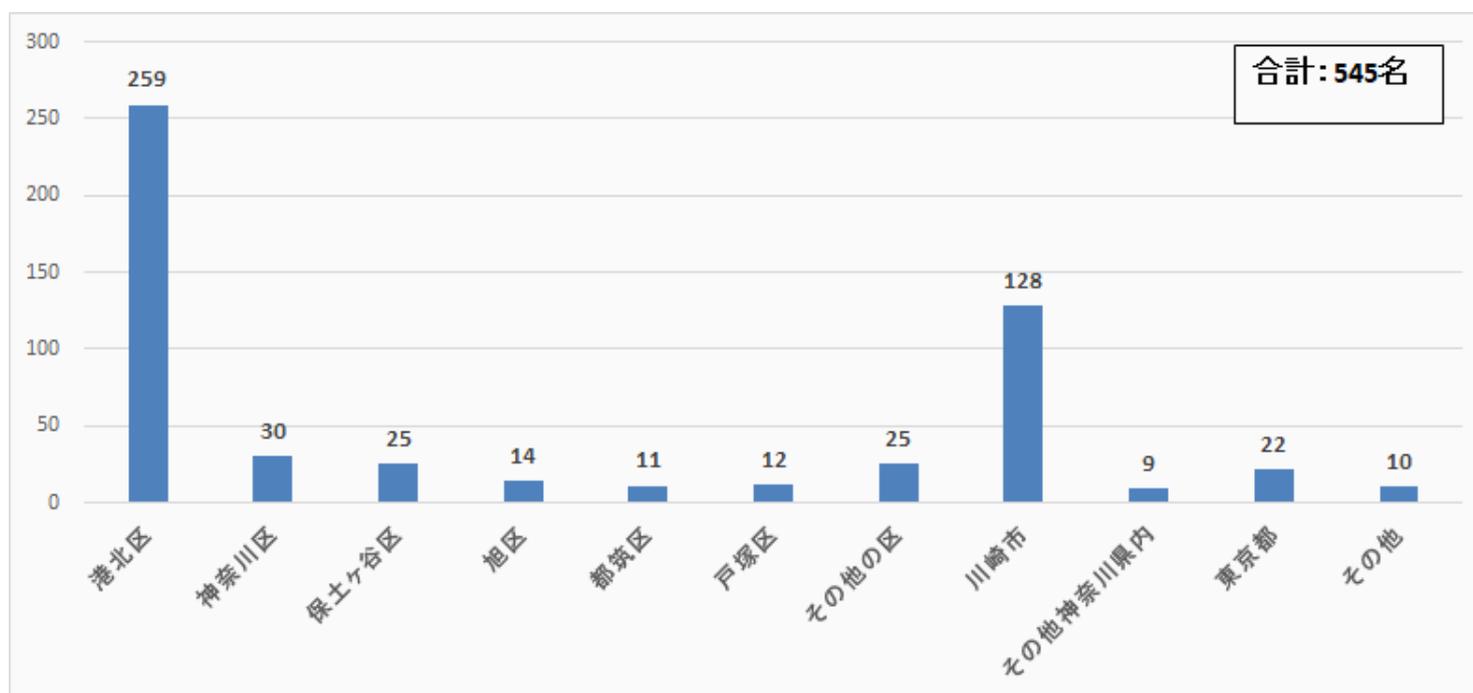
・運動器疾患主病内訳



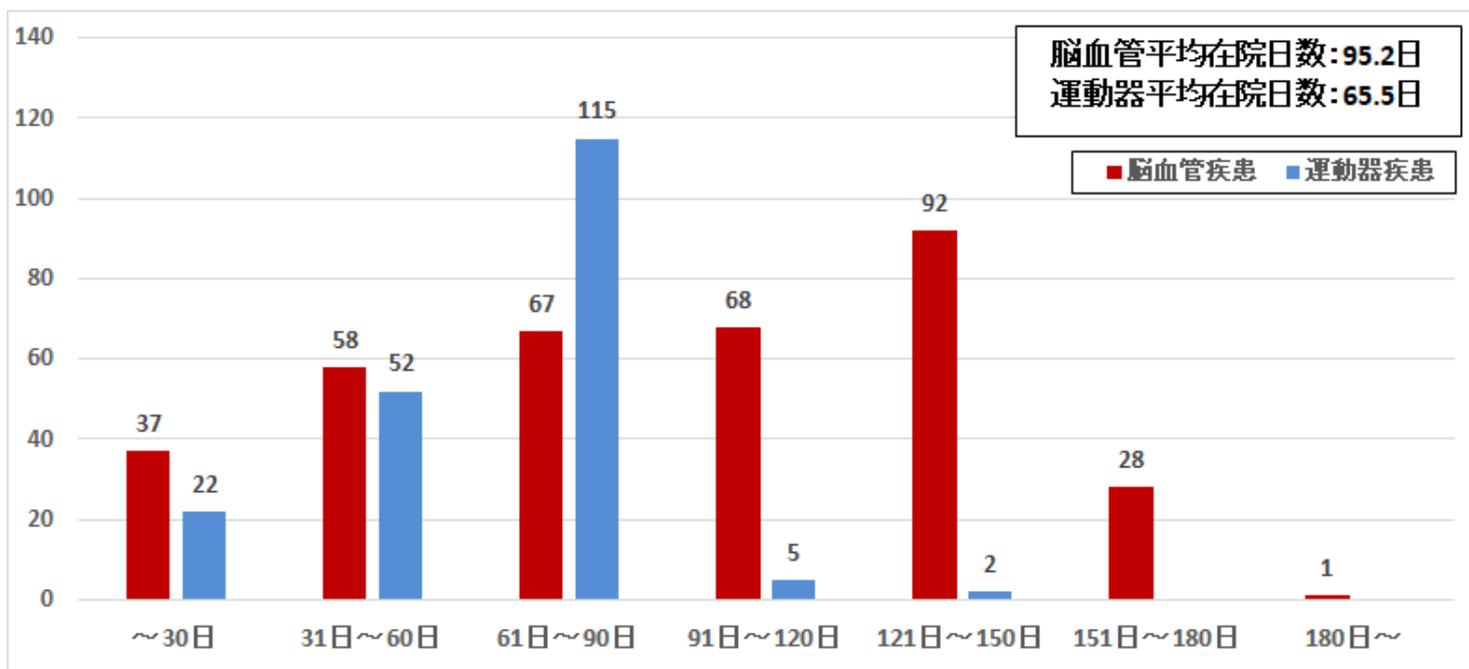
・性別・年齢別入院患者数



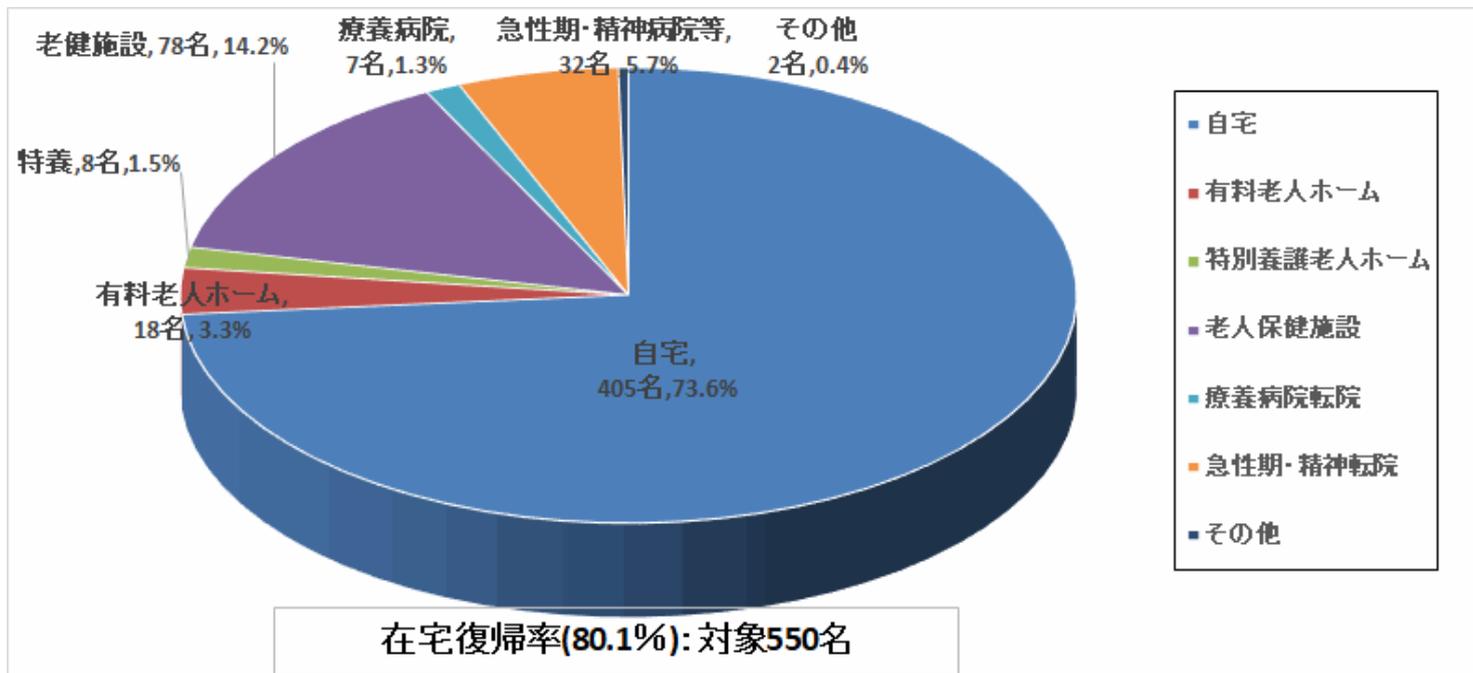
・地区別患者数(紹介病院所在地別)



・退院患者の入院日数(547名)



・在宅復帰率(退院実績)



・患者一人当たり一日リハビリ実施単位数

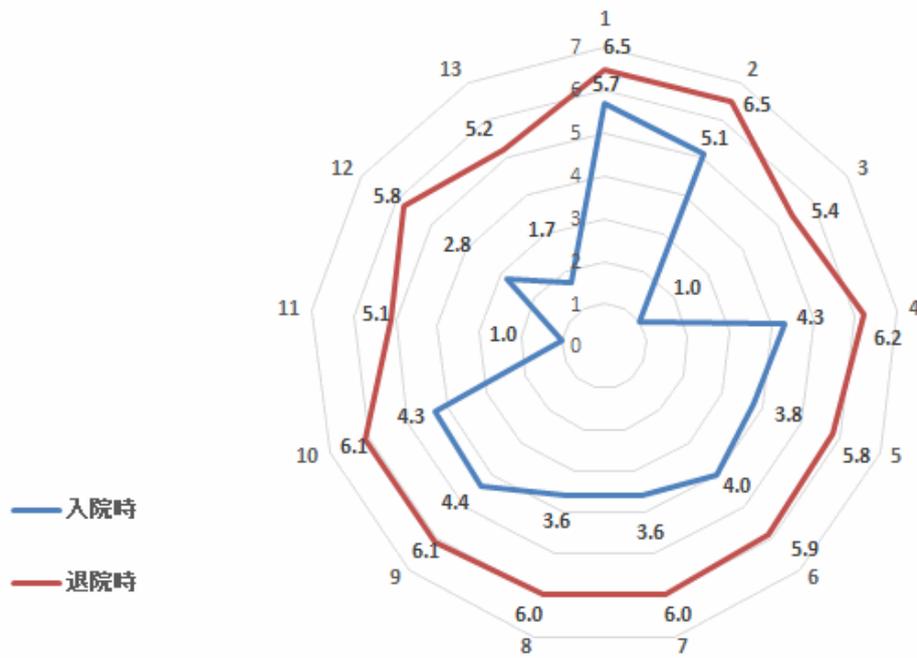
	脳血管疾患	運動器疾患
リハビリ単位数	8.8	5.8

※1単位20分です。保険診療では脳血管疾患が1日9単位まで、運動器疾患・廃用症候群が1日6単位までという制限があります。

・FIM入退院時推移(運動項目)

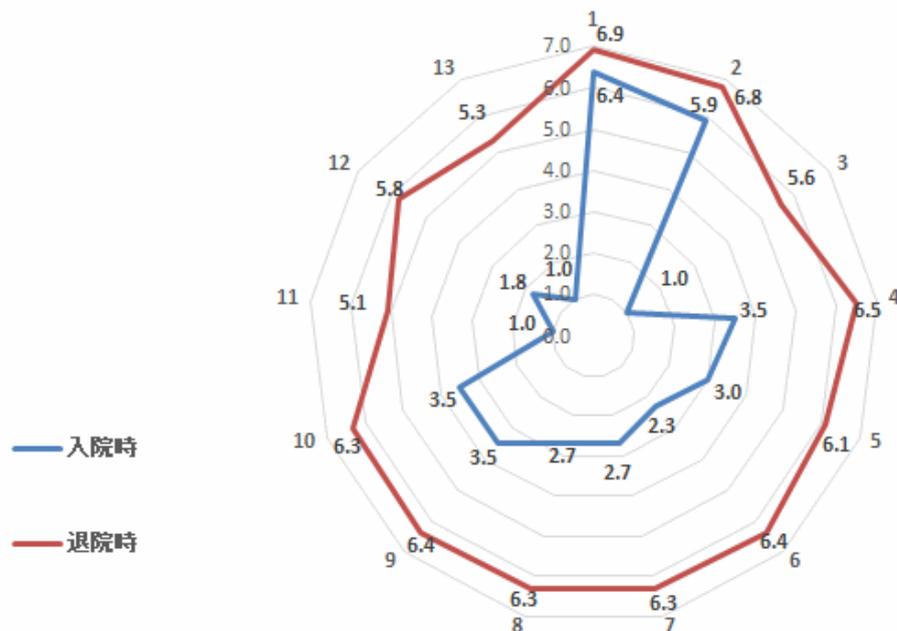
脳血管疾患		入院時	退院時	利得	
運動項目	セルフケア	①食事	5.7	6.5	0.8
		②整容	5.1	6.5	1.4
		③清拭	1.0	5.4	4.4
		④更衣・上半身	4.3	6.2	1.9
		⑤更衣・下半身	3.8	5.8	2.0
		⑥トイレ動作	4.0	5.9	1.9
	排泄コントロール	⑦排尿管理	3.6	6.0	2.4
		⑧排便管理	3.6	6.0	2.4
	移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子	4.4	6.1	1.7
		⑩トイレ	4.3	6.1	1.8
		⑪浴槽・シャワー	1.0	5.1	4.1
	移動	⑫移動	2.8	5.8	3.0
		⑬階段	1.7	5.2	3.5
合計		45.3	76.6	31.3	

FIM入退院時推移(脳血管疾患)



運動器疾患		入院時	退院時	利得	
運動項目	セルフケア	①食事	6.4	6.9	0.5
		②整容	5.9	6.8	0.9
		③清拭	1.0	5.6	4.6
		④更衣・上半身	3.5	6.5	3.0
		⑤更衣・下半身	3.0	6.1	3.1
		⑥トイレ動作	2.3	6.4	4.1
	排泄コントロール	⑦排尿管理	2.7	6.3	3.6
		⑧排便管理	2.7	6.3	3.6
	移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子	3.5	6.4	2.9
		⑩トイレ	3.5	6.3	2.8
		⑪浴槽・シャワー	1.0	5.1	4.1
	移動	⑫移動	1.8	5.8	4.0
		⑬階段	1.0	5.3	4.3
合計		38.3	79.8	41.5	

FIM入退院時推移(運動器疾患)



- ・FIMについて・・・FIMとは機能的自立度評価法と言われ、患者様の日常生活動作(ADL)の介助量を測定する中で最も信頼性があると言われていています。
- 評価項目については運動項目13項目と認知項目5項目の計18項目からなります。
- 採点は1～7点の7段階で評価を行います。

点数	内容
7点	「完全自立」、補助具や介助なしで自立
6点	「修正自立」、時間を要し、装具や自助具、服薬が必要、安全性の配慮が必要
5点	「監視・準備」、監視や準備や指示など促しが必要
4点	「最少介助」、手で触れる以上の介助は必要なし、「75%以上」は自分で行う
3点	「中程度介助」、手で触れる以上の介助が必要、「50%～75%未満」は自分で行う
2点	「最大介助」、25%～50%未満は自分で行う
1点	「全介助」、25%未満しか自分で行わない

※回復期病棟入院対象疾患について

* 脳血管疾患 *	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷、脊髄損傷などの発症もしくは手術後
* 運動器疾患 *	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折もしくは手術後
* 廃用症候群 *	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により「立てない」「歩けない」等の日常機能が低下した状態